

小・中学校教科等研修講座（英語科・外国語活動）

教科等指導員 南中学校 教諭 寺井 浩治
 教科等指導員 池尻小学校 教諭 藤田 かおり

担当指導主事：宮崎 大樹

キーワード：小中連携・学力向上・言語活動・教材教具

1 実施概要

実施月日	講師等	場所・形態	演題（またはテーマ）
1月26日(木)	南中学校 寺井 浩治 教諭	南中学校 2年2組教室・公開授業	「Reading から自己表現につながる指導」（第2学年）
2月16日(木)	池尻小学校 藤田 かおり 教諭 TAME 由香 英語指導補助員 南中学校 寺井 浩治 教諭	池尻小学校 5年1組教室・公開授業 学習室・事後研修会	「伝え合う楽しさを味わわせ、話す・聞く活動を充実させる授業づくり」（第5学年） 「平成27年度大学と連携した英語指導力向上事業の伝達講習」

2 主な内容

- (1) 「Reading から自己表現につながる指導」を目指した授業
 - ① 様々なバリエーションを用いた教科書本文の音読からペアで自己表現を作るまでの流れを意識した公開授業
 - ② 授業づくりに役立つ教材・参考資料などの提示
- (2) 「伝え合う楽しさを味わわせ、話す・聞く活動を充実させる授業づくり」
 - ① ジェスチャーと合わせて、体を動かしながら英会話に親しむ活動を取り入れた授業
 - ② 「話す・聞く」必然性のある場面設定を意識した授業
 - ③ 小中学校、または小学校での学年間の連携を意識した、アルファベットを書く活動を取り入れた授業
- (3) 「平成27年度大学と連携した英語指導力向上事業の伝達講習」
 - ① 平成27年度大学と連携した英語指導力向上事業から考える小中連携についての提案
 - ② 中学校での英語授業を体験してもらう中で、小学校外国語活動からスムーズに中学校英語につなげるための提案



3 成果と課題

- (1) 成果
 - ① 授業のテンポ、発問、声かけ、また、様々なリーディングを紹介することで、若手教員が授業に活用できる手法を提示できた。
 - ② リーディングから自己表現につなげる授業を提案することができた。
 - ③ 授業を公開することで、英語の教科化に向けて不安を持つ教員へ、授業づくりのモデルを提案することができた。
 - ④ アルファベットを書く際の具体的なポイントについて、小中学校の教員で情報交換や意見交流ができた。
 - ⑤ 伝達講習を通して、「平成27年度大学と連携した英語指導力向上事業」の内容について周知す

ることができた。

- ⑥ 小学校教員に、中学校英語の現状や小学校外国語活動で必要なこと、また、小中連携のあり方について提案することができた。

(2) 課題

- ① 若手教員の指導力・授業力の向上に向けた研修をさらに充実させる必要がある。
- ② 授業を提案するだけでなく、若手教員の授業を参観し、指導する機会を設ける必要がある。
- ③ 今後も小中学校の教員がお互いの授業を参観しあうなど、英語教育における小中連携を推進していく必要がある。
- ④ 小学校中学年での外国語活動や、高学年での教科化実施に向けて、教員の意識を高めるために継続して研修を行う必要がある。
- ⑤ 英語教育における小中連携や、中学校ブロックの小学校間の連携を、継続して推進していく必要がある。